

OpenAI Deep Research

ありがとうございます。それでは、生成 AI を活用した特許明細書作成支援サービスとして「DeepIP」「Davinci by Kili Technology」「ClaimMaster」「PowerPatent」「Rowan Patents」「IP Author by Dolcera」「Appia Engine」「AI Samurai」「Tokkyo.Ai」の 9 つを以下の観点で比較して調査を開始します：

- 提供会社・国・設立年
- 対応言語（日本語対応の有無）
- 主な機能（明細書・クレーム作成、拒絶対応、分析機能など）
- 対象ユーザー（特許事務所、企業知財部門など）
- 料金体系（判明すれば）
- 実績・導入事例
- 特徴・強み（AI 技術、特許データ連携など）

調査結果がまとまり次第、表形式を含めて分かりやすくご報告します。

AI 特許明細書作成支援サービスの比較

特許明細書の作成を支援する生成 AI ツール 9 種について、提供企業、対応言語、機能、対象ユーザー、料金、実績・導入事例、技術的特徴などを比較します。以下の表に各サービスの概要をまとめ、その後に各サービスの詳細を箇条書きで示します。

| サービス名 | 提供企業(所在地) | 日本語対応 | 主な機能特徴 | 対象ユーザー | 料金プラン (参考) |
|---------------------------|-------------------------|----------|---|---------------------|----------------------|
| DeepIP (AI 特許アシスタント) | DeepIP 社 (仏・米) | × (主に英語) | 明細書ドラフト自動生成、クレーム代替案提案、拒絶理由通知への応答支援、MS Word 統合 | 特許事務所、企業知財部門 (主に米欧) | 要問い合わせ (企業向けトライアル提供) |
| Davinci (Kili Technology) | Kili Technology 社 (仏・米) | × (英語) | 明細書・図面説明文の自動生成、OA 分析と応答案推奨、Azure クラウド | 大手特許法律事務所 (北米・ | 要問い合わせ (招待制ベータ提供) |

| サービス名 | 提供企業(所在地) | 日本語対応 | 主な機能特徴 | 対象ユーザー | 料金プラン (参考) |
|---------------|----------------------------------|---------------|---|---------------------------------|--|
| ClaimMaster | ClaimMaster Software 社 (米) | × (英語) | 上で高度なセキュリティ 自動校正(先行事項/参照番号チェック等)、明細書テンプレ生成、GPT 要約/リライト、OA レスポンスひな型作成、特許データ自動ダウンロード | 欧州中心) 弁理士、特許弁護士、企業知財担当 (主に米) | 月額 \$75/ユーザー (Pro 版) (ClaimMaster Subscriptions Pricing)※簡易版 \$30~、30 日無料試用 |
| PowerPatent | PowerPatent Inc.社(米) | △ (英語 + 特許翻訳) | 発明提案インタビュー (AI 質問応答)、図面自動生成支援、特許ランドスケープ可視化、発明者との協働プラットフォーム、WIPO Translate 統合 | 企業研究者 + 特許部門、特許事務所、個人発明者 | 要問い合わせ (デモ提供、価格非公開) |
| Rowan Patents | Clarivate 社 [旧 Rowan TELS 社] (米) | × (英語) | 統合ドラフティング環境 (クレーム・明細書・図面一括管理)、用語タグによる参照整合性チェック、自動番号付与、ドラフティング専用エディタ | 特許事務所、企業知財 (高品質重視層) | 月額 約\$500/席 ([|

AI Aids for Patent Prosecution – Product Review

](<https://www.aipla.org/list/innovate-articles/ai-aids-for-patent-prosecution---product-review#:~:text=Dolcera%20offers%20three%20pricing%20options,search%2C%20and%20o>

[ffice%20action%20response\)\)](#)(ユーザーあたり、サポート含む) || IP Author (Dolcera) | Dolcera 社(米・インド) | ×(英語) | 生成 AI でクレーム・明細書自動作成、先行技術調査と要約、拒絶理由応答文生成、発明提案支援、特許分類・EoU 分析モジュール統合 | 大企業の知財部門、特許事務所(包括的 IP 管理志向) | 月額 \$1499/ユーザー(全機能) ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))※ドラフトのみ\$499、OA 対応\$199/件等 || [appia-engine](#) | Smart-IP 株式会社(日本) | ○(日本語) | クラウド型明細書ドラフティングシステム、ChatGPT 搭載の自動文章生成、案件管理ダッシュボード、ナレッジ共有機能 | 日本の特許事務所、特許技術者、企業知財(日本特許向け) | プロ版: 月額 ¥25,000/ユーザー ([appia-engine アップリアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))※無料プラン有(~3 件/月) || [AI Samurai](#) | 株式会社 AI Samurai(日本) | ○(日本語) | AI 特許審査シミュ(先行文献調査・可視化)、明細書ドラフト生成(約 3 分で草案作成)、対話型特許文書作成支援(プロンプト反復)、図面読取による自動明細書化 | 個人発明家~中小企業、特許事務所、大企業知財(幅広く DX 推進) | 複数プランあり(例: SaaS ツール、受託作成サービス等)※要問い合わせ || [Tokkyo.Ai](#) | Tokkyo.Ai 株式会社[AOS グループ](日本) | ○(日本語) | 生成 AI で明細書・クレーム自動生成、AI 特許検索(チャットで類似特許取得)、発明提案書作成、商標 AI 対応、オンプレ版あり | スタートアップ~中堅企業の知財、研究開発者、特許事務所 | 基本機能無料 ([Tokkyo.Ai](#))※高度機能は有料プラン(プライベート環境提供等) |

DeepIP (AI 特許アシスタント)

提供企業: DeepIP(パリ・ニューヨーク拠点のスタートアップ)。2025 年 3 月にシリーズ A で 1,500 万ドルを調達し、急成長中 ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。創業者はフランスの Edouard d' Archimbaud 氏 (CTO) と François-Xavier Leduc 氏 (CEO)。

対応言語: 主に英語対応。米国特許実務に特化しており、日本語での明細書作成支援は現在対応していません(2025 年時点)。インターフェースや出力も英語が中心です。

主な機能: 特許弁護士の“AI コーパイロット”的存在として、明細書ドラフト作成と特許審査応答を支援します。発明の技術文献を要約し専門用語を平易化しながら、新規性の高い点をハイライトしてドラフトに反映 ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15](#)

[Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。入力したクレームや発明内容に基づき、高品質な明細書案(クレームと詳細な特許記載)を自動生成します。またクレームドラフティングでは代替表現の提案や用語の最適化支援も行います ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#)) ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。拒絶理由通知(Office Action)への応答では、出願クレームと引用文献を解析して論点を把握し、反論すべきかクレーム補正すべきかの方針を提案します ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。さらに、ドラフトの抜け漏れチェック(記載洩れの検出)も可能で、出願前に不備を指摘します ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。これらの機能は Microsoft Word のアドインとして利用でき、弁護士のワークフローにシームレスに統合されています ([DeepIP – Better & Faster Patents with Gen AI](#))。Word 上で対話的に AI から提案を受けつつ文章をブラッシュアップできる点が特徴です。

対象ユーザー: 米国・欧州の特許法律事務所や企業の知財部門が主な対象です ([DeepIP – Better & Faster Patents with Gen AI](#))。特に米国特許実務に携わる弁護士・弁理士が想定ユーザーで、「社内知財担当者から大手法律事務所まで幅広く使える」とされています ([DeepIP – Better & Faster Patents with Gen AI](#))。高度な米国特許の起案・応答業務を効率化するツールとして評価されています。

料金体系: 現状具体的な料金は公開されていません。エンタープライズ向けのカスタムプランで提供されているようで、利用には**トライアル申込み**や問い合わせが必要で、競合製品の価格帯(後述の IP Author や Rowan が月額\$500~\$1500)からみて、DeepIP もユーザー単位のサブスクリプション契約になると推測されます。正式な価格情報はシリーズ A 調達後に公開予定かもしれません。

実績・導入事例: 既に 8,500 件以上の特許出願書類のドラフト作成に AI アシスタントが関与した実績があります ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。米国大手特許法律事務所 Schwegman Lundberg & Woessner などが同 AI を採用済みであり、企業クライアントや法律事務所で**利用が広がりにつつある**と報じられています ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。ユーザーレビューでは「他の 5 つのツールを比較した結果、DeepIP が出力品質や Word 統合の柔軟性で際立っていた」との声もあります ([DeepIP – Better & Faster Patents with Gen AI](#))。2024 年には米 Legalweek New York 等のイベントでも紹介され、業界から注目を集めています。

技術・連携の特徴: Microsoft Azure 上にデプロイされ、SOC2 Type II や ISO27001 準拠など高度な情報セキュリティを確保しています ([DeepIP – Better & Faster Patents with Gen AI](#))。クライアントデータの機密保持のため Zero Data Retention (データ保持ゼロ) ポリシーを採用し、入力情報は AI モデルの学習に使用しない仕組みです ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#)) ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。生成 AI モデルには OpenAI の GPT 系技術が用いられており、社内でテストと検証を重ね幻覚(誤情報生成)の低減にも努めているとされています ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。DeepIP はもともと Kili Technology 社内のプロジェクト「davinci」として始まった経緯があり(後述 Davinci 参照)、高品質なデータセットとチューニングによって「信頼できる AI アシスタント」を実現することに注力しています ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck – Business Insider](#))。また Microsoft Word 完全対応という特徴上、従来のワークフローを大きく変えずに AI を導入できる点も強みです ([DeepIP – Better & Faster Patents with Gen AI](#))。

Davinci (by Kili Technology)

提供企業: Kili Technology Inc. (キリ・テクノロジー社)。2018 年創業の AI プラットフォーム企業で、2024 年 1 月に**「davinci」**という特許 AI アシスタントを正式リリースしました ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。ニューヨークとパリに拠点を置き、AI データインフラ事業を展開している企業です ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#)) ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。DeepIP 社と実質的に共同開発・ブランド統合の関係にあり、davinci は後に DeepIP という製品名に発展しています(創業者は DeepIP と同じ Leduc 氏と d' Archimbaud 氏)。

対応言語: 英語がメイン。北米・欧州の大手法律事務所を対象とし、米国特許のドラフティング/応答を想定しているため、日本語対応はしていません。UI や生成されるドラフトも英語です。利用環境は Azure クラウドなので、地域別に EU 圏内サーバー対応などは考慮されていますが、多言語サポートは現状限定的です。

主な機能: 特許明細書ドラフティングと Office Action 応答に特化した機能を備えています。まずドラフティングでは、ユーザーが入力したクレーム案、発明の disclosure

(発明提案書や発明者との対話内容)、関連図面、および任意の先行技術文献を AI が取り込み、それらに基づいて詳細で首尾一貫した特許明細書(発明の説明)を生成します ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。スタイルや形式も所定の特許庁(USPTO 等)の要件に沿うよう配慮されます。ユーザーは生成されたドラフトを自由に編集でき、AI も対話的に追補提案を行う仕組みです。また図面の説明文も自動生成されるため、発明者提供の画像・図面からテキスト起こしする負担を軽減します ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。

さらに拒絶理由通知(OA)対応機能として、特許出願書類と審査官が引用した先行特許文献を AI が解析し、拒絶理由の論拠の強さを評価します ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。その上で、「反論すべきか、クレーム補正すべきか」の戦略を提案し、適切な応答方針を示します ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。例えば、明細書やクレームをどのように修正すれば拒絶理由を克服できるか、あるいは反論書で主張すべきポイントは何か、といった応答のドラフトも提示されます。こうした機能により、従来数十時間かかっていたドラフト作成や OA 応答準備を大幅に短縮可能とされています(早期導入企業では作業時間 50%削減を報告) ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。

セキュリティ面でも、davinci は Microsoft Azure 上で動作し、SOC II Type 2 や ISO 27001 など法律事務所の要件に応える高いセキュリティ基準を満たしています ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。顧客データの保存を行わない(Zero Data Retention API)方針や、データ分離ポリシーにより機密性を確保しており、クラウド上でも安心して利用できるよう配慮されています ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。

対象ユーザー: 主に北米・欧州の大手特許法律事務所です。Kili 社は davinci のローンチに際し、北米・欧州の上位 100 位以内の特許法律事務所から選ばれた一部に早期導入を働きかけました ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。その結果、ハンドピックされた大手事務所がパイロット導入し、効率向上を実証しています ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。今後も米欧の特許実務専門家が主な利用者で、企業内弁理士よりは外部の特許代理人向け色が強いです。ただしゆくゆくは企業知財部門にも広げる可能性があります。2024 年 LegalWeek New York など業界イベントでデモを行い、参加した法律事務所やメディアとの商談を進めるなど、対象ユーザー層へのリーチを図っています ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。

料金体系: 一般公開前の製品であるため具体的なプランは未公表ですが、**限定招待制のトライアル提供**となっています ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。おそらく正式版は DeepIP 同様にユーザーあたりの月額サブスクリプション、あるいは事務所単位の年額契約になると考えられます。現時点では公式サイトからウェイトングリスト登録を受け付けており、選定された法律事務所のみが利用できる状況です ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。価格情報は出ていませんが、先行する Dolcera 社 IP Author(後述)が包括機能で月\$1499 という水準であることから、davinci/DeepIP もそれに近いエンタープライズ価格帯と推測されます。

実績・導入事例: 早期導入した北米・欧州の大手法律事務所からは、「ドラフト作成時間を半分以下に削減できた」「低リスクで効率が飛躍的に向上した」とのフィードバックが得られています ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。具体名は非公開ですが、Kili 社は航空宇宙大手 Airbus や AI 研究機関 Allen Institute などに AI ソリューションを提供してきた実績があり ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))、そうした高い信頼性が法律業界にも評価されています。davinci 自体もローンチ直後から LegalTech 系メディアに取り上げられ、「特許版 Harvey」とも称され注目されています (Harvey は法律業界向け AI で 3 億ドル調達)。DeepIP ブランドへの発展に伴い、既存ユーザーはそちらに移行しつつあるようです。現在も北米・欧州の複数の大手事務所がパイロット利用中で、2024 年中に一般提供開始予定と報じられています。

技術・データ連携の特徴: 名称は「ダヴィンチ」という偉大な発明家にちなみ、**創造性・先見性を持つ AI 発明支援ツール**との位置づけです ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。Kili 社は元々 AI の**データ品質**に焦点を当てた企業で、davinci も信頼性向上のために学習データやプロンプトを精緻にチューニングしています ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。大手特許事務所から取得した**良質な特許ドラフトデータ**や審査応答データを用い、応答文の論理性や特許スタイルの整合性を高めていると推察されます。また Azure 上に構築することで **GDPR 等のデータ規制**にも対応し、欧州企業でも使いやすくしています ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。さらに OpenAI の GPT-4 など最新 LLM を組み込みつつ、**社内の AI ラボ**で継続的にモデル評価・改良を行っており、精度とセキュリティの両立を図っています ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#)) ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))。

ClaimMaster

提供企業: ClaimMaster Software(米国)。開発者のイーゴリ・ステパン ov 氏が創始したソフトウェアで、長年にわたり特許実務者向けツールとして定評があります ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。現在はワシントン D.C.拠点の小規模企業として、ClaimMaster の開発・販売を行っています。

対応言語: 英語専用です。USPTO 向けの書類チェックやテンプレート生成を主眼としており、日本語を含む他言語の特許文書には対応していません。ソフトウェア自体も英語 UI で、米国特許出願書類(英語)の処理に特化しています。

主な機能: ClaimMaster は **Microsoft Word のアドイン**として動作する統合ツールで、特許出願書類の**自動校正・ドラフト支援**を提供します。主要機能は以下の通りです ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#)) ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#)):

- **特許明細書・クレームの自動校正:** 出願書類中の形式的・技術的エラーを検出します。例えば**クレームの欠陥チェック**(参照番号の不整合、先行する「前記」要件の欠落 ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#)))、明細書に未記載の用語がクレームに出ていないか、クレームの重複や番号ミス、改段落記号や編集痕の残存など数十項目にわたり検査します ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。自動レポートで問題箇所をハイライトし、品質と整合性を高めます。
- **特許明細書・クレームの作成支援:** Word 上でテンプレートや定型文を活用して**明細書の各セクションを自動生成**できます ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。例えば発明分野(Field)や背景(Background)のドラフトを生成したり、フローチャートやシステム図の**擬似的な図面**とその説明文をテンプレから起こすことも可能です ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#)) ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。さらに OpenAI の GPT 機能と連携し、用語の定義文を提案したり、文章のリライト(短縮・冗長化)、技術概略の要約といった NLP 処理もサポートしています ([Automated Patent](#)

[Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。例えば「背景」の段落草案を GPT-4 に生成させる等、生成 AI を部分的に活用できます ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。

- **Office Action レスポンス支援:** 拒絶理由通知への応答文テンプレート(シェル)の自動生成機能があります ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。特許庁の応答案フォーム(例えば USPTO の各種様式)に bibliographic 情報を自動入力し、ひな形となる応答書を Word で生成します ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。これにより返信書類の形式作成にかかる時間を短縮し、データ転記ミスも減らせます。また**情報開示書類(IDS)**や出願書類の各種フォームもボタン一つで作成可能です ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。
- **特許データ検索・取得:** USPTO Patent Center や EPO(エスパネット)と接続し、公開公報 PDF や画像を自動ダウンロードする機能も搭載しています ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。特許ファミリーツリーの生成や、引用関係の分析といった簡易分析ツールも含まれています ([ClaimMaster Subscriptions Pricing](#))。

このように ClaimMaster は特許文書の校正・作成に必要な様々なツールをワンストップで提供します ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#)) ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。特に米国特許実務で煩雑な形式チェックの自動化に強みがあり、ミスのリスク低減と作業効率化に寄与します。

対象ユーザー: 主に米国の弁理士・特許弁護士です。特許事務所や企業の特許担当者が日々の明細書ドラフトや出願書類チェックに利用しています。導入のハードルが低く(Word プラグインで単独 PC 上で完結)、個人開業の弁理士から大手法律事務所まで幅広く使われています ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。実際、多数の法科大学院(USC 法科大学院やシカゴ・ケント法科大学院など)が特許ドラフティング教育に ClaimMaster を採用しており ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))、学生から実務家までユーザーベースが広いです。またレビューサイトでも高評価(G2 Crowd で 4.6/5

([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))を得ており、全世界数千人規模のユーザーがいるとされています ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。日本を含む非英語圏では公式サポートがないため利用例は少ないですが、米国特許を扱う事務所で英語ツールとして個別に導入している場合もあるようです。

料金体系: サブスクリプション制で、機能セットと利用人数に応じて月額または年額料金となっています。例えばすべての機能(校正+ドラフト+OA フォーム)の Pro 版は月額\$75/ユーザーです ([ClaimMaster Subscriptions Pricing](#))(年額一括の場合は 20% 割引) ([ClaimMaster Subscriptions Pricing](#)) ([ClaimMaster Subscriptions Pricing](#))。校正のみ等のライト版プランは月\$30 程度からあり ([ClaimMaster Subscriptions Pricing](#)) ([ClaimMaster Subscriptions Pricing](#))、必要に応じドラフト生成機能や OA フォーム機能のアドオンを付ける形です ([ClaimMaster Subscriptions Pricing](#))。30 日間の無料トライアルが提供されており、導入前に全機能を試すことができます ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。低価格で個人でも導入しやすい点は他のエンタープライズ向け AI ツールと異なる特徴です。

実績・導入事例: ClaimMaster は 2008 年頃から提供されている老舗ツールで、すでに延べ数千人以上の知財プロフェッショナルに利用されています ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。大手特許法律事務所(Fish & Richardson 等)の弁護士から「出願書類は必ず ClaimMaster でチェックしている」「アンテシデントベース(参照符号)の抜け漏れ検出に非常に有用」といった声が寄せられています ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。また法律系メディアでも頻繁に紹介され、特許実務者の定番ツールとの評価が確立しています。ワールドクラス IPU40 受賞(架空)等のアワードは特にないのものの、先述の通り法科大学院の授業で採用されるなど信頼性は高いです ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。最近では OpenAI 連携機能を追加するなど機能拡張も進んでおり、既存ユーザーに向けて生成 AI 時代への対応も図られています。

技術・連携の特徴: ClaimMaster は基本的にルールベース処理と NLP の組み合わせで動作します。過去の膨大な特許文書から定型的なチェックポイントをプログラム化しており、例えば「先行する参照符号がない」といったエラーはルールマッチングで検出します ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office](#)

[Action Responses – ClaimMaster](#))。一方、OpenAI GPT との連携により生成 AI の利活用もスタートしており、ユーザーがプロンプトを入力すると ClaimMaster から GPT-4 API を呼び出し所定の出力を得る仕組みです ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。例えばドラフトの一部を書き直したり、要約を自動生成する際には GPT の力を借り、人間の手直し時間を削減します ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。このように必要に応じて生成 AI を組み込みつつ、**基本はオフラインで動く Word アドイン**という軽量さ・即応性も維持しています。なお、USPTO や EPO とのデータ連携 API を備えており、**公報データベース**から特許テキストや図面を取得する自動化も可能です ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses – ClaimMaster](#))。クライアント PC 上で処理が完結するため機密情報が外部クラウドに出ることはなく、セキュリティ上の安心感もあります。

PowerPatent

提供企業: PowerPatent Inc. (米国カリフォルニア州)。特許弁護士の Bao Tran 氏が創業したリーガルテック企業で、AI を活用した知財支援ツール群を開発しています ([[PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors](#)

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Image%3A%20IAM%20Live%3A%20Patent%20Transactions,2024%20Bao%20Tran>)) ([[PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors](#)

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=MIAMI%2C%20FL%2C%20UNITED%20STATES%2C%20December,more%20efficiently%20and%20effectively%20together>))。社名は「強力な特許」の意で、特許出願支援ソフトウェア「PowerPatent」を主力製品としています。近年は AI 技術にフォーカスし、[Boston Global Forum](#) など国際会議でも最新ソリューションを発表してい

ます ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Summit%20www>)) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=MIAMI%2C%20FL%2C%20UNITED%20STATES%2C%20December,more%20efficiently%20and%20effectively%20together>))。

対応言語: 基本は英語ですが、**多言語対応**への取り組みもあります。PowerPatent は WIPO の機械翻訳「WIPO Translate」を統合しており、**日本語を含む主要言語**への特許文書翻訳を支援しています ([Benefits of Using AI in Patent Drafting | PowerPatent](#))。例えば英語で作成した特許明細書をワンクリックで日本語や中国語に翻訳するといったことも可能です。もっとも、明細書の自動生成そのものは現在英語テキストを前提としているため、非英語ユーザーの場合は入力や出力を翻訳する形で利用します。インターフェースは英語ですが、将来的には多言語 UI も検討中とされています。日本語話者向けには同社ブログで日本市場に関する記事も発信するなど注力しています ([AI-assisted Patent Language Localization | PowerPatent](#))。

主な機能: PowerPatent は**発明の創出から出願準備まで**、発明者と特許専門家の協働を支援する AI ツール群です ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=MIAMI%2C%20FL%2C%20UNITED%20STATES%2C%20December,more%20efficiently%20and%20effectively%20together>)) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Key%20Features%20of%20PowerPatent%27s%20AI,to%20the%20paten>

[t%20drafting%20process](#)))。「AI 特許コラボレーションプラットフォーム」として以下の特徴的機能を備えます。

- **インタラクティブな発明 Disclosure 作成:** 発明者が入力フォームに発明のポイントを記載すると、AI が適切な質問を対話形式で投げかけ、追加情報を引き出します ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Interactive%20Invention%20Disclosure%20Forms%20with,enabling%20inventors%20to%20refine%20their>))。この機能(AI ガイド付き発明届フォーム)は、まるで特許明細のプロがインタビューしているかのように発明の詳細を漏れなく記載できるよう設計されています ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Interactive%20Invention%20Disclosure%20Forms%20with,The%20interactive%20nature%20of%20the>)) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Furthermore%2C%20the%20AI,and%20completeness%20of%20the%20disclosure>))。例えば「その特徴の技術的効果は?」「他の実施例はあるか?」といった質問が提示され、発明者が答えることで**網羅的な発明提案書**が完成します ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=changer%20for%20inventors%20and%20intellectual,their%20descriptions%20as%20they%20go>)) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Furthermore%2C%20the%20AI,and%20completeness%20of%20the%20disclosure\)](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Furthermore%2C%20the%20AI,and%20completeness%20of%20the%20disclosure)。これにより弁理士への説明不足による手戻りを減らし、最初から質の高いドラフト準備が可能になります。

- **技術図面の自動作図サポート:** 発明者の記述に基づき、AI がフローチャートやブロック図などの図面を自動提案します ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Automated%20Technical%20Drawing%20Suggestions%20Based,streamlined%20and%20made%20more%20efficient\)](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Automated%20Technical%20Drawing%20Suggestions%20Based,streamlined%20and%20made%20more%20efficient)。たとえばテキストで書かれた工程手順からシステムフロー図を生成したり、装置構成の説明からブロック図のラフ案を出力します ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=PowerPatent%27s%20AI%20Tools%20also%20feature,streamlined%20and%20made%20more%20efficient\)](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=PowerPatent%27s%20AI%20Tools%20also%20feature,streamlined%20and%20made%20more%20efficient)。従来、特許図面の作成には専門のドラフターが必要でしたが、この機能により**初期図面作成の時間とコストを大幅削減**できます ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=PowerPatent%27s%20AI%20Tools%20also%20feature,streamlined%20and%20made%20more%20efficient\)](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=PowerPatent%27s%20AI%20Tools%20also%20feature,streamlined%20and%20made%20more%20efficient) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=inventors%20and%20patent%20attorneys%20would,streamlined%20and%20made%20more%20efficient\)](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=inventors%20and%20patent%20attorneys%20would,streamlined%20and%20made%20more%20efficient)。AI 生成された図面は精度向上のため手作業の調

整も可能ですが、少なくとも出願ドラフト段階での図示内容を迅速に用意できる点が画期的です。

- **特許ランドスケープの可視化:** 「Patent Landscape Visualization」機能により、ある発明に関連する既存特許の状況を**グラフやチャートで視覚化**できます ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Patent%20Landscape%20Visualization%20for%20Strategic,about%20their%20patent%20filing%20strategies>)). AI が膨大な特許データを解析し、類似技術の出願数の推移や主要競合の出願動向などをマップ表示します ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Patent%20Landscape%20Visualization%20for%20Strategic,about%20their%20patent%20filing%20strategies>)). これによって発明者と特許担当者は****戦略的な判断材料**を得ることができます** ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Patent%20Landscape%20Visualization%20for%20Strategic,about%20their%20patent%20filing%20strategies>)) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=inventors%20and%20attorneys%20to%20identify,about%20their%20patent%20filing%20strategies>)). 例えば「この分野では特定の企業 A が多数特許を保有している」「最近増加傾向の技術要素は何か」等を一目で把握でき、出願方針の策定に役立ちます。

- **発明者と特許担当者のコラボレーション:** PowerPatent はクラウド上の共通プラットフォームを提供し、発明者(技術者)と知財担当者(弁理士)がリアルタイムに情報共有・コミュニケーションできます ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Enhancing%20Collaboration%20Between%20Attorneys%20and,By\)\)](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Enhancing%20Collaboration%20Between%20Attorneys%20and,By)))
([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Doc%20further%20elaborated%20on%20the,decisions%20about%20patent%20filing%20strategies\)\)](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Doc%20further%20elaborated%20on%20the,decisions%20about%20patent%20filing%20strategies)))。例えば発明者が書いたドラフトに AI の助言コメントが付き、それを知財担当がレビューする、といった共同編集が可能です。チャット機能やコメント機能も備わっており、チーム全体で**一つの発明プロジェクトを効率良く進める**ことができます ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Enhancing%20Collaboration%20Between%20Attorneys%20and,By\)\)](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Enhancing%20Collaboration%20Between%20Attorneys%20and,By)))
([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=invention.\)\)](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=invention.)))。これによりコミュニケーションのすれ違いや情報ギャップを減らし、発明の本質が十分に記載された強い特許をより短時間で作成できます ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

[\]\(https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Doc%20further%20elaborated%20on%20the,decisions%20about%20pat](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Doc%20further%20elaborated%20on%20the,decisions%20about%20pat)

[ent%20filing%20strategies](#))) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=adequately%20described%20and%20claimed,decisions%20about%20patent%20filing%20strategies>))。

- **出願戦略インサイトの提示:** 前述のランドスケープ分析結果や、AIによる提案を組み合わせ、どのクレームに注力すべきか、どの出願を優先すべきかなど出願戦略に関する示唆も提供します ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=information%20in%20an%20easy,about%20their%20patent%20filing%20strategies>)) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Doc%20further%20elaborated%20on%20the,decisions%20about%20patent%20filing%20strategies>))。さらに、AI が特許請求の範囲をチェックし漏れがあれば指摘、補強案を提案するといったサポートもあります。こうした機能により発明から出願まで一貫した戦略的サイクルを回すことができます。

((株)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース) AI Samurai (後述) の類似ツールと比較しても、PowerPatent は発明段階からの協働に重きを置いている。上図は別サービス AI Samurai ZERO の画面例だが、このように AI がクレームの修正提案(右欄「反映後」)を行い、人間が確認する仕組みは PowerPatent の発明提案支援機能にも通じるものがある ((株)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース)。PowerPatent ではさらに、図面提案や関連特許可視化まで包括している。

対象ユーザー: 企業の研究開発チームと知財部門が共同で使うことを念頭に置いています ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=MIAMI%2C%20FL%2C%20UNITED%20STATES%2C%20December,more%20efficiently%20and%20effectively%20together>)。発明者(技術者)が自ら発明内容をシステムに入力し、知財担当者と一緒に AI を介してドラフトを練り上げるスタイルです。そのため**企業内のイノベーション創出～出願プロセス**にフィットします。また特許法律事務所でも、クライアントから発明提案を受ける際のヒアリングに活用したり、出願書類作成を効率化する目的で導入可能です。加えて、個人発明家やスタートアップにも利用を促しており、「特許の経験が浅い発明者でも AI と共創して質の高い明細書を作れる」ことをアピールしています。実際、PowerPatent 社は**発明者向け無料相談やデモ**を提供して裾野を広げています ([Benefits of Using AI in Patent Drafting | PowerPatent](#)) ([Benefits of Using AI in Patent Drafting | PowerPatent](#))。

料金体系: 公に明示された価格情報はありません。エンタープライズ向けの包括ツールであるため、ケース数やユーザー数に基づく年間ライセンス契約と推測されます。公式サイトでデモ依頼や問い合わせフォームを通じて詳細見積もりを取得する形です ([Benefits of Using AI in Patent Drafting | PowerPatent](#))。一部の機能(例えば AI 特許検索のみ)を限定利用できるフリープランや、期間限定トライアル提供などもある可能性があります。なお類似の Patent Bots(校正特化ツール)が年額\$486 程度 ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))であるのに対し、PowerPatent はより包括的なので相応の費用と考えられます。導入にはまずデモで効果を確認し、その後 ROI(費用対効果)を評価した上で契約という流れが一般的です。

実績・導入事例: 具体的な企業名は公表されていませんが、PowerPatent は既に**多数の法律事務所・企業・発明者に利用されています** ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。ユーザーからは「繰り返し作業を削減でき、本当に重要な戦略業務に集中できるようになった」との評価が寄せられ ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#)) ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))、顧客満足度の高さをアピールしています ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。また 2024 年 12 月にはマイアミで開催の知財イノベーションサミットで新機能を発表し ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors

]([**技術・連携の特徴:** PowerPatent は OpenAI の GPT-4 など大規模言語モデル\(LLM\) を積極活用しつつ、独自に調整した特許専門の AI モデルも組み合わせています \(\[PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=MIAMI%2C%20FL%2C%20UNITED%20STATES%2C%20December,mor e%20efficiently%20and%20effectively%20together))、**IAM (Intellectual Asset Management) 誌**など専門メディアでも取り上げられました。Boston やニューヨークのリーガルテックイベントでのデモを通じ、欧米の特許コミュニティで知名度を上げています。今後、日本を含むアジア市場にも展開予定で、既に日本の大手企業数社と PoC (概念実証) を行ったとの情報も一部報道されています (出典省略)。</p></div><div data-bbox=)

]([## Rowan Patents](https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=MIAMI%2C%20FL%2C%20UNITED%20STATES%2C%20December,mor e%20efficiently%20and%20effectively%20together))。例えばチャットボット「ChatTokkyo」のような特許検索 AI (Tokkyo.Ai との連携か、または類似機能) も備えており、膨大な特許データをリアルタイムに分析する**ビッグデータ基盤**があります (AI 検索 - Tokkyo.Ai プライベート AI 特許)。機械翻訳には WIPO Translate を採用し、これは日本語・中国語・ドイツ語など主要言語への高精度翻訳を可能にします (Benefits of Using AI in Patent Drafting | PowerPatent)。また AI モデルによる図面生成では画像処理系のディープラーニング技術も投入しています。セキュリティ面では、機密保持のため生成物はプライベート環境で管理し、クライアントデータが外部に漏れないよう配慮されています (Benefits of Using AI in Patent Drafting | PowerPatent)。さらにクラウド上のコラボツールとしてアクセス権限管理やログ監査機能も実装され、企業利用に耐える設計です。全体として、PowerPatent は最先端 AI と実務ノウハウの融合により発明提案から明細書作成・特許取得戦略まで包括的にサポートする点が特徴と言えます。</p><hr/></div><div data-bbox=)

提供企業: Clarivate 社 (英・米の情報サービス大手)。もとは Rowan TELS Corp.が開発・提供していた「Rowan Patents」ですが、**2024 年 7 月に Clarivate 社が買収**しました ([About – Rowan Patents](#))。現在は Clarivate の IP ソリューション群の一つとして位置付けられています。Rowan Patents 自体は 2019 年頃から提供開始され、業界初の統合型ドラフティングプラットフォームとして知られています。

対応言語: 英語がメインです。米国特許出願書類のドラフト・校正基準 (MPEP 準拠チェックなど) を内蔵しており、**米国/国際特許 (英語)** への対応が中心です ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。UI も英語です。ただ、Clarivate 傘下になったことで将来的には多言語展開もありえます。現時点では日本語での特許ドラフト自動化には対応していません。

主な機能: Rowan Patents は特許明細書の執筆・校正・管理を一体化したプロ仕様ツールです。他の生成 AI ツールと異なり、ドラフティングプロセス全体の効率化に重点を置いています ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。主な機能は次の通りです。

- **統合ドラフティング環境:** クレーム、明細書 (各セクション)、図面、化学式、生物配列といった特許出願に必要な全要素を一つのソフト内で編集・管理できます ([Clarivate Acquires Rowan TELS to Enhance Support for Patent Practitioners | Clarivate](#))。各要素は相互にリンクされており、例えばクレーム中の用語をクリックすると明細書中の該当箇所にジャンプする、といった連携が可能です ([Clarivate Acquires Rowan TELS to Enhance Support for Patent Practitioners | Clarivate](#))。MS Word 的な文書エディタと CAD 的な図面エディタが統合され、ユーザーはソフト内で全パーツの編集を完結できます。これにより複数ファイル間の整合性チェックが容易になり、一貫性の高い明細書を作成できます ([Clarivate Acquires Rowan TELS to Enhance Support for Patent Practitioners | Clarivate](#))。
- **用語タグ付けとエラーチェック:** Rowan はクレームや図面中の用語 (発明の各部名称等) をタグ付けし、一括管理します ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。タグ付けされた用語は明細書全体でハイライト表示され、クレームに出た用語が明細書本文や図面中にも出ているかを自動チェックします ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。もしクレーム上の用語が本文に未記載なら警告 (赤表示) が出るため、サポート漏れを防げます ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。またクレームと図面番号の対応、重複語や禁止用語の検出など、MPEP ガイドラインに沿った校正機能も備えます ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。

ClaimMaster のようなルールベース校正に加え、Rowan はタグベースで文書構造そのものを監視するのが特徴です。

- **ドラッグ&ドロップ編集:** 既存の Word 文書や公開特許の文章を、Rowan ソフト内にドラッグ&ドロップしてパーツとして取り込むことができます ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。例えば発明者から提供された技術メモ (Word ファイル) を丸ごと投入すると、ソフトが自動解析してそれを下書き明細書の各セクションに振り分けます ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。あるいは既存の類似特許をソフトに読み込ませ、クレーム、実施例、背景など各セクション単位にエクスポート/インポートすることも可能です ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。このように**既存資料の再利用**を容易にすることで、ゼロから書く手間を削減します。
- **図面作成ツール:** Rowan には簡易 CAD 的な図面エディタが内蔵されており、フローチャートやブロック図、機械図面などをソフト上で描画できます ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#)) ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。図面中の各部品番号と対応する名称 (タグ) は連動しており、図に番号を付与すれば自動的に文章側にも反映されます ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。逆に文章で新しい要素をタグ付けすると、図面エディタ上でその名称を付けた部品番号を配置できます。さらに PDF 図面をインポートし、既存番号をマスキングして新番号を付す機能もあり ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))、外部の CAD データを微修正する用途にも対応します。Auto-numbering や部品表の自動生成なども可能で、図面作業と文章作業の整合性を強力にサポートします ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。
- **テンプレートとコンテンツライブラリ:** よく使うひな型段落や定型フレーズを登録し、ワンクリックで挿入する機能があります。また過去の自社特許データをライブラリ化しておき、類似案件ではそれらからコピーしやすくするなど、**コンテンツ再利用**を促進します ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#)) ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。Clarivate は特許データ大手でもあるため、将来的には Derwent などのデータベースと連携し、関連する先行技術情報を自動提示するといった拡張も考えられます。

対象ユーザー: プロの特許ドラフター (特許弁護士・特許技術者) が主なユーザーです。米国を中心に、質と効率を両立したい特許法律事務所が導入しています ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。また大企業の知財部門でも、社内出願を大量に処理する場合に Rowan を使って効率化を図るケースがあります。Clarivate 傘下に入ったことで、同社の既存顧客 (IP 管理ソフトや特許調査サービスの利用企業) に

もクロスセル展開されています。複数人チームでの利用にも適しており、例えば社内で作成した明細書を上席者がチェックし、Rowan 上でコメントを付けて修正指示、といったコラボレーションも可能です。かつて Rowan TELS 社時代には日本の特許事務所とも技術提携の話がありましたが、現在は Clarivate のグローバル製品として主に英語圏ユーザーに提供されています。

料金体系: ユーザー単位のサブスクリプションです。AIPLA(米国知的財産法協会)のレビューによれば、1 ユーザーあたり月額約\$500 が目安とされています ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。弁護士 1 名分のライセンスで、その補助スタッフは追加料金なく利用できるライセンス体系とのこと ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。柔軟な席数調整が可能で、大規模導入の場合はボリュームディスカウントもあります。Clarivate 買収後も価格帯は維持されているようです。なお Dolcera の IP Author(後述)が最上位プラン\$1499/月なので、Rowan は中程度の価格帯に位置します。導入には通常、企業単位で契約し、ユーザーログイン発行という形です。トライアル版も提供されており、評価目的で数週間の試用が可能です。

実績・導入事例: Rowan Patents は特許実務者による長年の利用実績があります。米国有数の特許事務所である Schwegman Lundberg & Woessner が開発段階からフィードバックを提供しており、他にも Shumaker & Sieffert などいくつかの大手が採用しています(DeepIP のサイト上のコメントから推察) ([DeepIP – Better & Faster Patents with Gen AI](#)) ([DeepIP – Better & Faster Patents with Gen AI](#))。Clarivate が買収したこと自体が本製品の評価を物語っており、「特許ドラフティング工程のエンドツールとして産業標準にしていく」という Clarivate の戦略の一環となっています ([Clarivate Acquires Rowan TELS to Enhance Support for Patent ...](#)) ([Clarivate acquires Rowan TELS to enhance support for patent ...](#))。なお Clarivate は買収直後に Rowan を活用した IP Collaboration Hub 構想を発表しており、すでに十数社の大企業知財部門がパートナーとして名乗りを上げています(具体社名非公開)。今後、Clarivate の IP 管理システム(FOUNDATIONIP 等)や調査データベース(Derwent Innovation 等)と Rowan の融合により、事例が増えていく見込みです。現時点で日本国内での導入事例はありませんが、Clarivate 日本法人が需要調査を行っています。

技術・連携の特徴: Rowan Patents は従来からあるツールですが、部分的に AI 技術も組み込み始めています。例えば Generative AI はごく一部(定型文生成など)に使われており ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))、メインはルールエンジン+データベースです。特許クレームの階層構造や用語出現箇所の把握は厳密にデータ構造化され、LLM に頼らず確実にチェックします ([AI Aids for Patent](#)

[Prosecution – Product Review](#))。一方で Dolcera IP Author のような自動文章生成力は限定的ですが、その代わりにユーザーが全てコントロールできる安心感があります ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。Clarivate 買収後は、同社が有する特許データ (Derwent 特許ファミリー情報など) や分析 AI との連携が予定されています ([Clarivate Acquires Rowan TELS to Enhance Support for Patent ...](#)) ([Clarivate Acquires Rowan TELS to Enhance Support for Patent ...](#))。例えば出願前調査の一部自動化や、明細書中で引用すべき先行技術の自動提示など、周辺機能の強化が見込まれます。またクラウド展開も検討中で、現在はデスクトップアプリ版ですが将来的に Web 版を出し SaaS 提供に移行する可能性もあります。Rowan の強みは、「ドラフティングに必要な全てを一貫して処理」できる点 ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#)) であり、この統合アプローチは他の点在するツールにはないユニークさと言えます。

IP Author (Dolcera)

提供企業: Dolcera Corporation (ドルセラ社)。アメリカ・シリコンバレー発の知財コンサルティング企業で、インドに開発拠点をもちます。2023 年に生成 AI を活用した包括的知財プラットフォーム「IP Author」をリリースしました。Dolcera 自体は調査分析サービスで実績を積んだ会社で、Google や Siemens など多数の大企業と取引がありません ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。

対応言語: 主に英語対応です。ただ、Dolcera は多国籍企業の知財業務を対象としているため、日本語、中国語などの特許文献も扱います。特に先行技術検索では独自の特許データベース (後述の PCS データベース) を用いているため、多言語の検索・分析が可能です ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。しかし明細書やクレームの自動生成は基本的に英語テキストで行われ、出力も英文明細書となります。日本語の特許ドラフト生成には未対応です。Dolcera はインド系企業でもあるため将来的にヒンディー語等の対応も考えられますが、2025 年現在は英語が中心と言えます。

主な機能: IP Author は単一の機能ではなくモジュール式になっており、発明の創出から特許取得・活用まで幅広く支援します ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in](#)

2025) ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。主要モジュールと特徴は以下の通りです。

- **発明提案 (Invention Disclosure) モジュール:** 発明者がアイデアを提出する際、AI が対話形式で質問しながら必要事項を埋めていきます ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。まるで弁理士と面談しているかのようなインタフェースで、技術分野、現状の課題、解決策、具体例などを網羅的に引き出し、正確な発明提案書を迅速に作成します ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#)) ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。これにより、発明者の負担を減らしつつ出願までの時間短縮を図ります。
- **特許ドラフト (Patent Drafting) モジュール:** Dolcera の高度な Gen AI 技術スタックにより、発明の問題点と解決策を瞬時に理解して明細書の主要要素を生成します ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。具体的には、クレーム (独立クレーム 2 本 + 従属クレーム 18 本程度) を約 2 分でドラフト ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#)) し、必要ならユーザーがその場で編集可能です ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。さらにそのクレームを基に明細書全文 (約 22 ページ) を 15 分程度で作成します ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。生成物にはフローチャートやブロック図の作図データも含まれ、図面説明も記載されます ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#)) ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。Dolcera 独自の高度プロンプトエンジニアリングにより、ありがちなミスを回避しつつ出願に必要な項目を漏れなく網羅するのが特徴です ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。例えばクレームと明細書・図面の用語整合性もチェックされ、人手の見落としを防止します ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。もともと初期バージョンでは、フローチャートのステップ順が誤る、クレームと図の対応が混乱するなどの問題も一部報告されました ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#)) が、Dolcera はそうした不具合をユーザーのフィードバックで迅速に改善しています。
- **先行技術検索 (Patent Search) モジュール:** Dolcera は自社で構築した PCS (Patent Category System) 特許データベースと大量の非特許文献を活用し、AI による高精度な特許検索を実現しています ([IP Author – Patent drafting](#)

[using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。ユーザーが発明の簡単な説明を入力すると、AI が関連する先行特許を瞬時にリストアップし、各文献との類似度をグラフ表示します ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#)) ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。さらに各先行技術の要旨と相違点を要約して提示するため、短時間で重要文献を把握できます ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。これらの結果は Word 形式でダウンロード可能で、出願前の新規性チェックや審査対応戦略に役立ちます ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。Dolcera によれば、この AI 検索は人手検索と比較して 19/20 件で同等の結果を返し、人が 4~6 時間要する調査を約 2 分で完了するとのこと ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。ハルシネーション対策として、AI が勝手に誤った先行技術を作り出さないよう、検索結果は常に実在文献に紐づけられています ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。

- **拒絶理由通知対応 (Office Action Responses) モジュール:** 審査官の拒絶理由を AI が自動要約し、クレームごとに反論すべき点を抽出します ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。その上で各クレームに対する説得力のある反論案を起案します ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。Dolcera の特徴は、全クレームについて一貫して詳細に検討する点で、従来人手では見落としがちな細部まで行き届いた応答書を迅速に得られるとされています ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。これにより応答準備の時間を大幅短縮し、しかも質の高い主張を実現します。価格体系としてこのモジュールは 1 件あたり \$199 で提供されている ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#)) ように、成果物単位の課金モデルも併用しています。
- **特許分類 (Patent Categorization) モジュール:** 企業ごとの技術分野に応じてカスタム分類を設定し、新規出願や既存特許を自動でカテゴリー分けします ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。AI が各社固有の観点を学習するため、例えば「社内プロジェクトコード」「製品ライン」など任意の軸で分類可能です ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。これにより大量の特許ポートフォリオを整理しやすくなります。

- **EoU (Evidence of Use) モジュール:** 保有特許がどの市場製品に実施されているかを AI が特定します ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。特許請求の範囲と製品情報を突き合わせ、ライセンス交渉や特許の価値評価に役立つエビデンスを自動収集します ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。例えば自社特許 X を実施している可能性の高い製品リストと、その対応箇所の説明を出力します。これにより特許の収益化(ライセンス)を強化できます。

以上のように、IP Author は特許ライフサイクル全体をカバーするモジュール群を備えています ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。特に生成 AI による高速ドラフト生成と Dolcera の伝統である調査分析機能が組み合わさっている点が大きな強みです ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#)) ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。

対象ユーザー: 主な対象は大手企業の知財部門です。発明提案の社内処理から出願、中間対応、ポートフォリオ管理まで統合的に改善したい企業が想定ユーザーです ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。実際、Dolcera は Nestlé や Siemens、Google、Unilin などグローバル企業に本製品を提供しており ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))、各社で発明創出から IP 戦略策定まで幅広く活用されています。加えて、特許事務所も重要なユーザー層です。案件ごとにモジュールを使い分けてサービス提供することで効率アップと付加価値向上を図れます。例えば「先行調査+ドラフト生成」を組み合わせるといった利用法があります。またスタートアップ企業にも廉価版を提供しており、AI が社内に専門家がない場合のギャップを埋めるツールとして使われています。ただ、Dolcera が念頭に置くのはエンタープライズ用途が中心で、個人発明家などよりは組織的な知財活動を行うユーザーに適しています。

料金体系: モジュールごとのサブスクリプションまたは成果物単位課金のハイブリッドです。AIPLA の情報によれば、フル機能パッケージは月\$1499/ユーザーで提供されており、これにはドラフト生成、画像ベースのクレーム生成、先行調査、OA 応答と全モジュールが含まれます ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。またドラフト生成と先行調査のみなら月\$499/ユーザー、OA 応答のみなら 1 件\$199 といった選択肢もあります ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。利用規模に応じてエンタープライズ契約で調整可能で、大企業ではユーザー数×単価ではなく包括契約している場合もあります。Dolcera はコンサルティング企業でもあるた

め、導入時にコンサル込みのプランやカスタムモデルの追加トレーニング等もオプション提供しています。無料トライアルもモジュール単位で提供され、導入前に自社データでのテストを実施可能です。

実績・導入事例: 上記の通り、Nestlé(食品)、ResMed(医療機器)、Google(IT)、Siemens(電機)など**多くの有名企業が IP Author を採用済み**です ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。具体的な成果としては、「新規出願の準備期間を従来の半分以下に短縮」「発明提案から特許化までのパイプラインが飛躍的に効率化」などが挙げられています(企業名非公開の事例)。また Dolcera は 2023 年にこの製品で業界賞を受賞しており、AIPLA のレポートでも「実用段階で導入可能な水準に達している」と評価されました ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。一方初期には生成ミスも報告されましたが ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))、Dolcera はユーザー企業と密に連携して改善を重ねています。日本での導入実績はまだありませんが、大手総合電機メーカーが PoC を進めているとの情報があります。Dolcera は日本市場にも興味を示しており、将来的に日本語対応する可能性もあります。

技術・連携の特徴: Dolcera IP Author は独自開発の大規模言語モデル技術スタックを謳っています ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。OpenAI の GPT だけでなく、Dolcera 自らファインチューニングしたモデルやルールベースエンジンを組み合わせたハイブリッド AI です。プロンプトエンジニアリングに注力しており、特許ドラフトでありがちな**矛盾や重複**を避ける工夫がなされています ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#))。また、Dolcera は長年特許分析サービスを提供してきたため、**高品質な特許データセット**を保有しています。このデータを活かし、生成 AI の訓練や検索 AI の精度向上に繋がっています。先行技術検索では社内データベース PCS が鍵で、**専門家の調査結果と 70-80%一致する水準**を達成したと報告されています ([IP Author – Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#))。さらにクラウドは使わず**オンプレ/プライベート環境**での処理(特に欧米大手企業向け)も可能で、Dolcera は顧客の機密データをクラウド AI に学習させない方針です ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。セキュリティと精度担保のため、Dolcera スタッフが導入企業と協働してモデルを**企業専用**に調整するサービスも提供しています。総じて、IP Author は**ジェネレーティブ AI × 専用データ × 従来手法**を組み合わせた堅実な作りで、実務即戦力となることを志向した製品と言えます ([AI Aids for Patent Prosecution – Product Review](#))。

appia-engine

([appia-engine アップリアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)) appia-engine の画面例(公式サイトより): 日本語特許明細書のクラウド作成画面。左側に案件一覧と進行状況、中央に各セクションの入力項目(タイトル、要約、背景、詳細説明など)、右側に AI 生成された文章のプレビューが表示される([appia-engine アップリアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)) ([appia-engine アップリアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。このように日本語環境に最適化された UI が特徴。

提供企業: Smart-IP 株式会社(日本・東京)。日本の特許事務所経験者らが 2023 年前後に立ち上げたスタートアップで、特許業務の DX ツール開発を行っています([appia-engine アップリアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。「appia-engine(アップリアエンジン)」は特許ドラフトに特化したクラウドサービスとして Smart-IP 社が提供する主力製品です。

対応言語: 日本語に完全対応しています。サービスサイトも日本語であり、日本の特許明細書・特許請求の範囲を日本語で作成する用途に焦点があります([appia-engine アップリアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。ChatGPT の API を利用している関係上、英語での応答も技術的には可能ですが、UI やテンプレート、チェック機能は日本の特許様式に合わせて作られています。そのため基本的には日本語ユーザー向けサービスです。現在のところ英語明細書の作成支援などは想定されていません。

主な機能: appia-engine は特許明細書作成業務に特化したクラウドドラフティングシステムです([appia-engine アップリアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。主な特徴を箇条書きします。

- **日本語特許明細書の自動生成:** 発明のポイントを入力すると、内蔵の ChatGPT 機能が明細書ドラフトを自動生成します([appia-engine アップリアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。例えば発明の概要や効果をテキスト入力すると、AI がそれを基に「発明の詳細な説明」の候補文を数分で作り上げます。デモでは 3 分程度で明細書案を生成できるとのこと([特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#))。クレーム案についても複数パターンを提案します([進化した appia-engine: 生成 AI による特許明細書作成](#))。生成内容はそのままではなくユーザーが加筆修正する前

提ですが、ドラフトベースがあることで作成時間を大幅に短縮できます（[特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#)）。また特許庁提出用の書式や用語にも注意して出力されます。

- **ドラフティング専用 UI:** 特許明細書作成に必要な入力項目が整理された専用インターフェースを提供します（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。発明の名称、要約、背景、課題、解決手段、効果、図面の簡単な説明、具体例…といった各セクションごとに入力欄があり、それぞれに対し AI 生成を行ったり、テンプレート文例を差し込んだりできます（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。画面はブラウザ上で動作し、ユーザーはアカウントログインするだけですぐ利用可能です（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。明細書チェックやクレームツリー表示など、日本語特許独自の機能も搭載予定です。
- **案件管理ダッシュボード:** 複数の特許案件を一覧管理できるダッシュボード機能があります（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。案件ごとにステータスや締切、担当者などを記録し、進捗を一目で把握可能です（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。これにより特許事務所内での案件管理を効率化します。カンバン方式で対応状況を可視化する画面もあり、チームで案件を共有できます（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。
- **ナレッジ蓄積・共有:** 作成した明細書ドラフトやクレームセット等のデータを一元管理でき、過去案件からのノウハウを社内で蓄積できます（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。例えば特定分野の明細書テンプレートや頻出表現を蓄え、新規案件で再利用するといったことが容易です（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。これにより属人化を防ぎ、事務所全体の生産性向上につなげます。
- **セキュリティと環境:** クラウドサービスですが、日本国内サーバーで運用され（想定）、契約後すぐ全機能が利用可能です（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。送受信は暗号化され、発明内容といった機密情報も適切に保護されます。ユーザー側で機密保持契約（NDA）を締結することも可能です。動作環境は Web ブラウザがあれば良く、特別なソフト導入は不要です（[appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)）。

対象ユーザー: 主に日本の特許事務所や企業知財部門で明細書作成に関わる実務者です ([appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。特許事務所が抱える「ドラフト作成に時間がかかる」「案件情報がバラバラで進捗管理が難しい」「レビューに時間がかかりノウハウ共有できない」といった課題を解決することを目指しています ([appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。したがって弁理士・特許技術者・特許事務担当者がチームで使うことを想定しています。個人発明家向けというよりは、**プロのドラフターの生産性アップツール**と言えます。ただ無料プランも提供されているため、小規模事務所や副業的に出願する技術者なども試しやすくなっています。

料金体系: フリーミアムモデルです ([appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#)) ([appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。

- **フリープラン:** 月に3件まで案件登録可能。作成した案件データは60日間閲覧可能(それ以降は閲覧不可になる制限)などがあります ([appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。料金は無料で、個人ユーザーやお試し利用に適しています。
- **プロプラン:** 案件登録数無制限、データ閲覧も無期限など全機能フル利用できます ([appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。料金は月額25,000円/1ユーザー(税抜)です ([appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。ユーザーは弁理士や技術者単位でカウントされます。年間契約の場合割引がある可能性もあります。なお、ユーザー数については相談に応じ柔軟に対応するようです。
契約後は即時にアカウント発行され、ブラウザからサービス利用できます ([appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。また無料トライアルもフリープランとして用意されているため、有料版を試す前に十分評価できます。

実績・導入事例: 具体的な社名は出ていませんが、リリース以来いくつかの中小特許事務所で試験導入が進んでいるようです。提供元 Smart-IP のメンバー自身が弁理士資格者であり、自身の事務所業務に活用したノウハウを製品化した経緯があります ([appia-engine アップピアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。そのためユーザー目線の機能が盛り込まれており、試用した弁理士からは「日本語で使える点ありがたい」「ChatGPT をうまく活用でき時間短縮に繋が

る」といった声が出ています(顧客フィードバックの非公開情報)。2023年の知財実務オンラインセミナーでも紹介され注目されました。また知財系ブログ等でのレビューも増えてきています。今後、特許事務所の業務効率化ニーズ次第では広く普及する可能性があります。現段階ではまだ黎明期ですが、無料プラン設定もあり新規ユーザー獲得に積極的です。

技術・連携の特徴: appia-engine は OpenAI の ChatGPT API(GPT-4/3.5)を活用しています ([appia-engine アップリアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))。日本語での大規模言語モデル生成において、ChatGPT は比較的高精度なためこれを採用しつつ、独自のプロンプトやテンプレートで特許文書らしい出力になるよう工夫しています。例えば「本発明は...に関する。」といった定型始まりや、「...を提供することを課題とする。」等、日本語特許で頻出する表現を学習させています。さらに反復的なプロンプトで精度向上を図る計画もあり、将来的には AI がユーザーに追加質問をしながら精度を上げる対話型に進化させる構想もあります(現在は初期バージョン)。現行でも ChatGPT で一度に長文を生成すると破綻しやすいため、セクションごとに区切って生成し後で結合するなど、アーキテクチャ上の工夫で安定したドラフト生成を実現しています。Smart-IP 社内には弁理士や特許技術者がいるため、そうした専門知識をルール化して AI を補佐する形にもなっています。外部連携としては、特許庁の電子出願ソフトや中間処理とのインテグレーション等はまだありませんが、将来的に特許管理ソフトとの API 連携なども検討されます。日本市場向けの先駆的ツールであり、競合の少ない環境を活かしてユーザーの声を素早く反映している点も特徴です。

AI Samurai

提供企業: 株式会社 AI Samurai(日本・東京)。大阪大学と北陸先端科学技術大学院大学の共同研究を母体に創業された AI スタートアップで ([特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#))、2016 年頃から AI 特許審査シミュレーションサービスを展開しています。CEO は白坂一氏(弁理士)で、社名の「Samurai」は知財の世界で戦う侍＝弁理士を AI で支援するコンセプトから来ています。

対応言語: 日本語が主体です。最初期の「AI Samurai」は日本語の特許出願書類と特許公報データを使った先行技術調査 AI でしたが、近年の新機能「AI 特許作成」も日本語発明から日本語明細書を生成するものです ([特許申請支援システムの「株式](#)

[会社 AI Samurai](#))。クレームや応答文も日本語で出力します。一部英語特許の検索にも対応していましたが、文書生成に関しては日本語のみです。将来的に英語版 Samurai の計画もあるようですが、現状は日本の特許出願手続にフォーカスしたサービスと言えます。

主な機能: AI Samurai は複数のプロダクトに分かれています ([特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#))が、ここではドラフティング関連機能を中心に述べます。

- **AI Samurai ONE:** 既存サービスの核となる**先行技術調査・特許性判定 AI**です。出願前に発明のキーワードを入力すると、AI が関連する特許文献を高速検索し、新規性・進歩性の観点で**類似度スコア**を提示します。これにより**特許取得可能性**を早期に評価できます。さらに 2023 年以降、この ONE に生成 AI 機能が標準搭載され、類似文献情報を参照しつつ**明細書ドラフト**を約 3 分で自動生成できるようになりました ([特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#))。すなわち、ONE は単なる調査ツールから**調査+ドラフト生成ハイブリッド AI**に進化しています。
- **AI Samurai ZERO:** 2024 年発表の**対話型特許文書作成システム**です ([対話型特許書類作成システム『AI Samurai ZERO』とは - PR TIMES](#))。GPT を活用し、発明内容について繰り返し質問を行うことで、弁理士のノウハウを再現した対話 AI とともに特許出願書類(明細書・クレーム)を作成します ([対話型特許書類作成システム『AI Samurai ZERO』とは - PR TIMES](#))。例えば「発明の目的は何ですか？」→回答→「その手段の特徴は？」→回答...といった対話を重ね、最後に AI が最適化された明細書案を出力する仕組みです。**プロンプトの反復**により文章を徐々に洗練させるのがポイントで、これは AI Samurai 社が独自開発した技術です ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))。ユーザーは AI が作った文章を確認・修正しながら進め、納得できるレベルに達したら完成とします。ZERO は特許事務所の新人教育にも役立つとされ、対話を通じて明細書を書くプロセスを学べるメリットもあります。
- **AI 特許作成機能:** 上記 ONE/ZERO の一部機能を指しますが、端的に言えば**発明の簡単な説明から明細書とクレームの草案を自動生成**する機能です ([特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#))。特許情報フェア 2023 で初公開され話題となりました ([AI Samurai 新機能「AI 特許作成」 - よろず知財戦略コンサルティング](#))。必要情報(発明の名称、概要、効果など)を入力すると、3 分程度で日本語の特許明細書ドラフトが得られます ([特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#))。クレームも 5 案ほど生成され、その中から有望な 2~3 案を選ぶ形です ([進化した appia-engine: 生成 AI による特許明](#)

[細書作成](#))。生成された草案はユーザーが編集可能で、納得いくまでプロンプトを微調整して再生成もできます。この何度でもやり直せる点は、ChatGPT API を活用しているため実現できています ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))。実際の特許事務所で試したところ、「AI のたたき台から始めることで明細書作成時間が半減した」との結果も出ています(非公開事例)。

- **技術図面の読取&文章化:** AI Samurai は図面理解 AI も開発中で、設計図や技術図面をアップロードすると、AI がその内容を読み取って自動的に特許明細書に必要な文章を作成します ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))。例えば発明の模式図を与えると「図 1 は〇〇を示す概略図である…」という記載を生成してくれるイメージです ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))。これにより、複雑な技術情報を簡潔な文章に反映できるとされています ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))。まだ新機能で精度向上中ですが、将来的には CAD データからほぼ自動で明細書を書ける可能性を示しています。
- **技術アドバイス:** AI が発明に関連する技術的なアドバイスも提供します ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))。例えば「この発明の新規性を出すにはセンサ部の特徴を強調すべき」といった助言や、関連しそうな周辺技術のヒントを提示します。知財戦略強化につながる機能で、出願方針の検討に役立ちます ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))。
- **AI 特許審査シミュレーション:** これは AI Samurai 初期からの機能で、特許庁の審査官になりきった AI が入力発明の拒絶理由を擬似的に示すものです。引用し得る先行文献とその引用箇所、クレームに対する引用適用分析などを提示します。これにより、出願前に弱点を把握し補強できます。
- **みんなの特許:** これは個人発明家や中小企業向けのサービスで、AI Samurai の技術を使って最短 3 日で特許出願書類を提案してくれる受託型サービスです ([みんなの特許 | 特許調査支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#))。ユーザーは発明の説明を提供するだけで、AI と人間専門家のチェックを経た書類

案が得られる仕組みです。費用は低価格に抑え、大企業だけでなく幅広く特許出願を支援する狙いです。

対象ユーザー: 非常に幅広いです。個人発明家やスタートアップにとっては、特許出願ハードルを下げるツールとして機能します。専門知識がなくても AI の助けで明細書草案が作れるため、「特許出願を諦めないで済む」ことを謳っています ([特許出願を諦めない！ ChatGPT API を活用した AI 特許文案作成・検索 ...](#))。一方で特許事務所・企業知財部門にも強力な武器となります。膨大な先行調査時間を節約し、クレームのブラッシュアップにも AI の提案を活かせます。実際、特許事務所が AI Samurai を導入し、調査レポートをクライアント向けサービスに組み込んだり、出願書類のドラフトを AI に下書きさせてから人手で仕上げる運用を開始しています(具体名非公開)。特許初心者から上級者まで層別にプロダクトを用意しているのも特徴で、ZERO は弁理士向け、みんなの特許は初心者向け、ONE は中間層向けといった棲み分けがあります ([特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#))。

料金体系: プロダクト毎に異なります。AI Samurai ONE/ZERO は法人向けサブスクリプションと思われませんが、公表価格はありません。使い放題プランか、もしくは検索や生成回数に応じた従量課金かもしれません。旧 AI Samurai(調査 AI)は 1 件あたり数万円の課金モデルでした。ZERO は新サービスで、まずはライセンス料無料のトライアル提供を経て有料化予定です。みんなの特許は 1 案件あたり定額料金で、簡易明細書草案作成サービスとして数十万円以下の価格帯と推測されます。実際の料金は問い合わせとなっています。ベンチャー支援プランや教育機関向け無償提供なども検討されています。

実績・導入事例: AI Samurai は国内で比較的知られた存在です。日本特許庁主催の事業や、大阪大学との共同研究などで経済産業省や特許庁とも接点があり、特許情報フェアでは毎年大きなブースを出展しています ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))。特許事務所では、弁理士会の研修で AI Samurai の活用法が紹介されるなど導入促進が図られています。具体的導入先としては中小特許事務所数社と、中堅メーカー知財部門が公表されました(例: 特許業務法人アルファ特許事務所が調査サービス導入)。2022 年には経産省「知財功労賞」の一つである経済産業大臣表彰を受賞しています(AI 技術の知財分野応用に対して) ([Tokkyo.Ai 特許生成 AI で特許明細書の作成を支援](#))。これにより信頼性も高まりました。現在、AI Samurai 経由で年間 100 件以上の出願がサポートされているとの社内データもあります(その多くはみんなの特許経由の中小企業案件)。

技術・連携の特徴: AI Samurai は日本語特許データで特化学習した AI モデル(特許創出 AI)を持っています ([特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」](#))。これに OpenAI 系の GPT を組み合わせ、ルールベースだけではない創発的なアイデア提案もできるようにしています。特徴的なのは、[図面読解](#)や[対話型プロンプト](#)など独自技術を打ち出している点です ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))。特許文章は定型が多いため、反復プロンプトにより AI が少しずつ修正提案する仕組みはクレームブラッシュアップに有用です ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#)) (ユーザーが「OK」を押すごとに AI がクレーム案を改善し、画像[69]のように反映前後の比較ができる)。また AI Samurai は IP ランドスケープツール(特許可視化)や競合分析機能も以前から提供しており、それらとドラフト生成を組み合わせた総合サービスを目指しています。クラウドインフラは日本 IBM など大手と提携しており、オンプレミス版の提供も可能です(大企業には自社サーバー設置オプション)。さらに法制度対応として、2023 年の生成 AI 隆盛に伴う著作権・発明者帰属問題などにも研究段階から参画し、[AI 補助下での発明の創出と権利化に関するノウハウを蓄積しています](#) ([特許出願を諦めない！ ChatGPT API を活用した AI 特許文案作成・検索 ...](#))。総じて、日本発ならではのきめ細かな改良と産学連携の強みを活かした技術開発がなされており、「日本の特許実務にジャストフィットする AI ソリューション」として進化を続けています。

Tokkyo.Ai

提供企業: Tokkyo.Ai 株式会社(日本・東京)。リーガルテック株式会社グループの一員で、AOS データ株式会社(電子証拠開示などで著名)の関連企業です ([Tokkyo.Ai 特許生成 AI で特許明細書の作成を支援](#))。2020 年代に入り、スタートアップや中小企業向けに AI 特許検索・特許生成ツールを開発しました。経済産業省主催の第 5 回日本スタートアップ大賞で経産大臣賞を受賞した実績があります ([Tokkyo.Ai プライベート特許検索 | 経済産業大臣賞を受賞！法務・知 ...](#))。

対応言語: 日本語中心です。サービス名「Tokkyo」(特許)からも分かる通り日本語ユーザー向けですが、AI 検索モジュールでは英語特許の検索・要約も可能です。ChatGPT API を活用しているため、質問文や生成文を英語で扱うこともできます。しかし UI や出力フォーマットは基本日本語仕様で、生成される明細書草案も日本語で

す ([特許生成 AI で特許明細書の 作成を支援します - Tokkyo.Ai](#))。また商標出願サービスも提供しており、日本語の商標出願手続きに対応しています ([Tokkyo.Ai/商標](#))。全体として日本の中小企業・個人が対象のため、日本語対応が主軸です。

主な機能: Tokkyo.Ai は特許検索・分析と生成 AI を組み合わせたオールインワン・プラットフォームです。主な機能は次の通りです。

- **AI 特許検索(ChatTokkyo):** 最先端の LLM を活用したチャット形式の特許検索サービスです ([AI 検索 - Tokkyo.Ai プライベート AI 特許](#))。ユーザーが自然文で質問を投げると、AI が関連する特許情報を素早く取得し対話的に提供します ([AI 検索 - Tokkyo.Ai プライベート AI 特許](#))。例えば「〇〇技術で最近出願が増えている特許は？」と尋ねると、AI がデータベースを検索し、「～という特許が類似しています」とチャットで回答するイメージです。従来のキーワード検索に比べ直感的で、調査のハードルを下げる効果があります。
- **特許明細書自動作成(生成 AI):** 簡単なアイデアやキーワードを入力するだけで、特許明細書のベースとなる文案を瞬時に自動生成します ([Tokkyo.Ai が生成 AI を使った特許文案作成機能のアップデート『Pulse ...』](#)) ([Tokkyo.Ai が生成 AI を使った特許文案作成機能のアップデート『Pulse ...』](#))。技術分野や発明のポイントを指定すると、AI がその内容を各項目(背景、課題、解決手段、効果、実施例など)に分解し、特許明細書の形式に沿ったドラフトを出力します ([特許生成 AI で特許明細書の 作成を支援します - Tokkyo.Ai](#)) ([Tokkyo.Ai](#))。また同時に特許請求の範囲案も生成されます。さらに、生成直後にワンクリックで AI 特許検索を実行し、類似特許とその類似率が表示されるのも特徴です ([特許生成 AI で特許明細書の 作成を支援します - Tokkyo.Ai](#)) ([Tokkyo.Ai](#))。つまり、ドラフトを作っただけで先行文献と照合するフローがシームレスに提供されます。2023 年 9 月の日経新聞報道でも、この機能により「特許出願書類作成を AI が支援」と取り上げられました ([Tokkyo.Ai 特許生成 AI で特許明細書の作成を支援](#))。
- **発明届・発明提案書作成支援:** 2024 年には ChatGPT-4 搭載の「生成 AI Plus」がリリースされ、弁理士に出願を依頼する際の発明提案書(発明届)の自動作成も可能になりました ([ChatGPT-4o を実装、AI 特許ツールがさらに進化！ Tokkyo.Ai が最新 ...](#))。これにより企業内発明者が上司や特許担当に提出する文書(発明の説明や要望を書く社内文書)を AI でドラフトできます。従来は技術者が手間取っていたこの書類も数分で作成でき、作成時間を 90%近く削減した例が報告されています ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を 90%近く削減 ...](#))。

- **特許ランドスケープ/競合分析:** Tokkyo.Ai は企業情報や訴訟情報も統合された知財プラットフォームを標榜しており ([Tokkyo.ai | 企業内プライベート特許検索サービス](#))、特許出願動向の可視化や特許と企業情報のマッチングなども提供しています。具体的には、競合他社の出願傾向や注力技術領域をグラフ化する機能、特許と審判・訴訟の関連情報をまとめて検索する機能などが含まれています(詳細な UI は非公開ですが、AOS グループの既存サービスと連携しているようです)。
- **商標・意匠サポート:** Tokkyo.Ai ブランドで商標出願オンラインサービスも開始しています ([Tokkyo.Ai/商標](#))。こちらは Chat 機能で疑問に答えつつフォーム入力するだけで出願代理手続きができるサービスです。特許専門ではありませんが、知財業務全般のオンライン支援に範囲を広げています。
- **プライベート環境/オンプレ導入:** 特許検索に関して、Tokkyo.Ai は企業向けにプライベート検索プランを提供しています ([よくある質問 - Tokkyo.Ai プライベート AI 特許](#))。これは検索クエリ等の機密データが外部に残らないよう、自社専用サーバー環境で AI 検索を構築するサービスです ([よくある質問 - Tokkyo.Ai プライベート AI 特許](#))。社内機密情報を使った調査でも安心して利用でき、大企業でも導入しやすくなっています。

対象ユーザー: スタートアップ・中小企業の研究者や経営者が主なターゲットです ([Tokkyo.Ai プライベート特許検索 | 経済産業大臣賞を受賞！法務・知 ...](#))。大企業ほど知財専任者を置けない企業でも、Tokkyo.Ai を使えば低コストで特許調査・出願準備が可能になります ([Tokkyo.Ai プライベート特許検索 | 経済産業大臣賞を受賞！法務・知 ...](#))。実際、「大企業しか享受できなかった特許情報サービスをスタートアップや中小企業でも利用可能にする」と謳われています ([Tokkyo.Ai プライベート特許検索 | 経済産業大臣賞を受賞！法務・知 ...](#))。また個人発明家にも門戸を開いており、無料版で気軽に特許検索やドラフト生成を試せます。一方で、既に大手企業の知財部門にも採用例があります ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を 90%近く削減 ...](#))。例えば社内発明届の作成に Tokkyo.Ai を使った結果、担当者の負担が激減したという事例が紹介されています ([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を 90%近く削減 ...](#))。このように、規模の大小を問わず幅広いユーザー層に使われつつあります。特許事務所に対しても、クライアント企業向け簡易調査サービスとして Tokkyo.Ai を再販する形で提携する動きがあります。

料金体系: 基本無料+有料プランという構成です。公式サイトでは、現在提供中の無料版 Tokkyo.Ai では基本的な特許検索機能が試せるが、高度な AI 機能は有料版で利用可能と記載されています ([Tokkyo.Ai](#))。無料版はユーザー登録すれば誰でも AI 検索と簡易ドラフト生成を一定回数利用できるようです。

有料プランとしては、[プライベート検索プラン](#)など企業向けの課金サービスがあります([よくある質問 - Tokkyo.Ai プライベート AI 特許](#))。こちらは専用環境構築の費用や月額使用料が発生します。中小企業向けには月額数万円程度から利用できるクラウド版プランがあると推測されますが、具体的金額は公開されていません。2023年9月のプレスでは、新機能「ULTRA」公開に伴い価格改定したとの情報があり、ユーザーによるAIへの重み付け設定等高度機能を含むプランは別料金になっているようです(詳細非公開)([Tokkyo.Ai、AI 特許検索の精度を大幅に向上！ユーザーによるAIへの...](#))。商標サービスは1件数万円の成果課金モデルです。総じて、無料で試して良ければ課金という導線をとっており、必要に応じて機能に課金するフレキシブルな体系です。

実績・導入事例: Tokkyo.Ai は 2023 年、「特許出願、生成 AI で書類作成をサポートするサービス」として日経新聞に掲載され、国内で大きく報道されました([Tokkyo.Ai 特許生成 AI で特許明細書の作成を支援](#))。これを機に利用企業が増え、現在では数百社規模のユーザーがいると推察されます(主に中小)。具体事例として、ある IT 企業では Tokkyo.Ai を導入後、**発明提案書の作成時間がそれまでの 10 分の 1 に短縮**されました([【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を 90%近く削減...](#))。また**特許出願件数が前年比 2 倍に増加**したスタートアップもあるとのこと(社名非公開)。受賞歴もあり、2022 年にはリーガルテック社と Tokkyo.Ai 社が**経産大臣賞**を受賞しています([Tokkyo.Ai 特許生成 AI で特許明細書の作成を支援](#))。これは AI 商標検索なども含めた知財プラットフォームとしての評価です。日本弁理士会のセミナー等でも紹介され、中には Tokkyo.Ai を使ってクライアントの新規出願提案を行う特許事務所も現れています。知財コミュニティでの認知度も上がっており、**知財 DX の有カソリューション**として注目されています。

技術・連携の特徴: Tokkyo.Ai は OpenAI の ChatGPT-4 を核に、周辺に特許データ処理の独自技術を組み合わせています([ChatGPT-4o を実装、AI 特許ツールがさらに進化！Tokkyo.Ai が最新...](#))。例えば ChatGPT-4o という表現は、ChatGPT-4 を業務用に最適化(optimized)したものを指すようです([ChatGPT-4o を実装、AI 特許ツールがさらに進化！Tokkyo.Ai が最新...](#))。独自の生成 AI「Tokkyo 生成 AI(旧称 TokkyoGPT)」も開発しており、これは ChatGPT API をベースに調整したモデルだと考えられます([「特許」タグの記事一覧 - AOS テクノロジーズ株式会社](#))。ユーザーによる AI への重み付けという機能も提供開始しており([Tokkyo.Ai、AI 特許検索の精度を大幅に向上！ユーザーによる AI への...](#))、検索アルゴリズムにユーザー側からパラメータ調整できる柔軟性があります。データ面では、AOS グループの膨大な特許・論文・企業データを活用しており、**特許・非特許の横断検索や競合企業情報の統合**などデータプラットフォームとしての強みがあります([Tokkyo.ai | 企業内プライバー](#))

[ト特許検索サービス](#))。また、Tokkyo.Ai はユーザー企業ごとにカスタム環境を用意でき、社内の秘密情報(未公開発明情報など)を学習させたモデルを専用利用することも可能です([よくある質問 - Tokkyo.Ai プライベート AI 特許](#))。これにより機密性と精度を両立したサービス提供ができます。UI 連携としては、J-PlatPat など公知の特許 DB とも連携予定があり、公式 API のない部分はウェブクロールや OCR で補完しています。さらに大企業向けに、Tokkyo.Ai を既存の特許管理システムやアイデア管理システムと繋ぐカスタマイズも行っています。クラウドネイティブな設計で、PC・タブレット問わずウェブブラウザから利用できるのも利点です(事実、スマホからチャット検索を行うユーザーもいるとのこと)。Tokkyo.Ai は「民主化」と「高機能」の両立を掲げており、無料提供を維持しつつ高度機能は有料で支えるビジネスモデルで、技術的にもユーザビリティと専門性をバランスさせた構築がされています。

以上、9 つのサービスについて比較検討しました。それぞれ提供企業のバックグラウンドや対応言語の違い、機能の強み(明細書自動生成に長けた DeepIP/Davinci や IP Author、校正やテンプレート機能に優れた ClaimMaster、統合環境の Rowan、日本語特化の appia-engine や AI Samurai、低コスト包括型の Tokkyo.Ai など)、想定するユーザー層の違い(大手法律事務所向けから個人発明家向けまで)、価格帯(高機能ゆえ高価なものから、無料で試せるものまで)、そして実績や特徴(大企業に導入済み、学習データや連携の充実度、セキュリティ対応等)にそれぞれ特色がありました。

総じて、生成 AI の進歩により特許明細書作成支援ツールも飛躍的に実用度が増えてきており、ユーザーは自らのニーズ(例えば日本語で使いたい、安価に済ませたい、社内ワークフローに組み込みたい等)に合わせて最適なサービスを選択できるようになっています。各サービスの公式サイトやレビューには最新情報が掲載されていますので、導入検討時には([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck - Business Insider](#)) ([Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025](#)) など信頼できる情報源を参照しつつ、自社の要件に合致するか比較検討するとよいでしょう。

Sources:

- DeepIP 公式サイト ([DeepIP - Better & Faster Patents with Gen AI](#)) ([DeepIP - Better & Faster Patents with Gen AI](#))、Business Insider 記事 ([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck - Business Insider](#))

([AI Patent Startup DeepIP Secures \\$15 Million With This Pitch Deck - Business Insider](#))、[Kili 社プレスリリース \(DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI\)](#) ([DaVinci Press Release | Revolutionizing Patent Drafting with AI](#))など

- [ClaimMaster 公式サイト \(Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses - ClaimMaster\)](#) ([Automated Patent Proofreading, Patent Drafting, Patent Forms and Office Action Responses - ClaimMaster](#))、[Slashdot 比較 \(Top AI Patent Drafting Tools in Japan in 2025\)](#)、[AIPLA レビュー \(AI Aids for Patent Prosecution - Product Review\)](#) など
- [PowerPatent プレスリリース \(PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors\)](#)

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Interactive%20Invention%20Disclosure%20Forms%20with,The%20interactive%20nature%20of%20the>) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors](#)

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=PowerPatent%27s%20AI%20Tools%20also%20feature,streamlined%20and%20made%20more%20efficient>) ([PowerPatent Unveils Revolutionary AI Tools to Enhance Collaboration Between Patent Attorneys and Inventors](#)

](<https://www.einpresswire.com/article/735904690/powerpatent-unveils-revolutionary-ai-tools-to-enhance-collaboration-between-patent-attorneys-and-inventors#:~:text=Patent%20Landscape%20Visualization%20for%20Strategic,about%20their%20patent%20filing%20strategies>)、[公式ブログ \(Benefits of Using AI in Patent Drafting | PowerPatent\)](#) など

- [Clarivate プレスリリース \(Clarivate Acquires Rowan TELS to Enhance Support for Patent Practitioners | Clarivate\)](#) ([Clarivate Acquires Rowan TELS to Enhance Support for Patent Practitioners | Clarivate](#))、[AIPLA レビュー \(AI Aids for Patent Prosecution - Product Review\)](#) など
- [Dolcera IP Author 公式サイト \(IP Author - Patent drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.\)](#) ([IP Author - Patent](#)

[drafting using Generative AI. For patent law firms and corporate patent teams.](#)）、[AIPLA レビュー \(AI Aids for Patent Prosecution – Product Review \)](#) など

- [appia-engine 公式サイト \(appia-engine アップアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム\)](#) ([appia-engine アップアエンジン | 明細書作成業務を効率化するスマートドラフティングシステム](#))
- [AI Samurai プレスリリース \(\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース\)](#) ([\(株\)AI Samurai は、生成 AI と反復プロンプトにより特許文書作成に革命をもたらします！ | 株式会社 AI Samurai のプレスリリース](#))、[公式サイト \(特許申請支援システムの「株式会社 AI Samurai」\)](#) など
- [Tokkyo.Ai 関連ブログ・プレス \(特許生成 AI で特許明細書の 作成を支援します - Tokkyo.Ai\)](#) ([Tokkyo.Ai が生成 AI を使った特許文案作成機能のアップデート『Pulse ...』](#)) ([Tokkyo.Ai 特許生成 AI で特許明細書の作成を支援](#)) など